

百年の布
美しき襪
の
世界

萩博物館春期特別展

2022 3/19 SAT ▶ 2022 6/19 SUN

9:00AM ▶ 5:00PM (入館は 4:30PM まで)

萩博物館

休館日：2022年6月8日(水) ▶ 6月10日(金)

【観覧料】大人 520円、高校・大学生 310円、小・中学生 100円、未就学児 無料 [団体割引20名以上] 20% [障がい者割引] 20%

〒758-0057 山口県萩市大字堀内355番地 TEL:0838-25-6447 FAX:0838-25-3142 E-mail:muse@city.hagi.lg.jp 萩博物館公式HP:http://www.city.hagi.lg.jp/hagihaku/

主催：萩博物館特別展・企画展開催実行委員会 共催：萩市、萩市教育委員会

後援：山口県、山口県教育委員会、NHK山口放送局、KRY山口放送、tysテレビ山口、yab山口朝日放送、FBSエフエム山口、はあぷビジョン、株式会社エフエム萩

百年の布

～ 美しき襤褸の世界～

木綿が普及する以前、人々は衣料とする繊維原料を風土の中で入手できる身近な植物に求めました。繊維原料を採取・栽培し、糸を績み、布を織る。これらすべての工程は手作業であり、生活する上で必要な衣料を確保するためには膨大な時間と労力を費やさなければなりませんでした。

限られた衣料を長く使い続けるために布を補強・修繕・再利用する術を編み出し、繕いながら着続けられた衣服は「襤褸」と呼ばれ、その中には仕立てられてから役目を終えるまで百年を超えるものがあったとされます。

風土が育み、細やかな手仕事によって生まれた美しき襤褸たちを紹介します。

※多数の資料を紹介するため、会期前後半で展示替えを行います。
 ●前半:3月19日(土)▶4月28日(木)
 ●後半:4月29日(金・祝)▶6月19日(日)

イベント

ギャラリートーク

3月19日(土) 4月16日(土)
 4月29日(金・祝)
 5月22日(日) 6月11日(土)

◆場所 萩博物館 企画展示室
 ◆各日14:00～ 定員各回先着15名
 展示を担当した学芸員が見どころを解説します。

参加費無料

ただし観覧料は必要となります。



藤織・紙布

中国山地の各地には藤つるの皮や裁断した和紙を糸にして仕立てられた衣類が今に伝わっています。かつて人々は身近に入手できる資源を手をかけて最大限に活用しました。



ドンザ

ドンザと呼ばれる衣類は海行き・山行きの仕事着として日本各地で用いられました。布を重ね合わせて縫うことにより強度を高め、厳しい環境においても長く着用することができるよう工夫がされています。



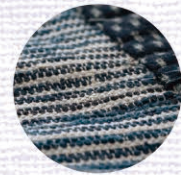
ドンザ 下関市立豊北歴史民俗資料館蔵
 (登録有形民俗文化財)【公開:4/29～】



ツツレ・ツツリ 萩博物館蔵

裂織

緯糸に使い古した木綿布を細く裂いたものを用いた織物を裂織といえます。主に寒冷地など木綿栽培に適さない地域で生産され、耐久性のある生地は山野の仕事着として用いられました。



今後の新型コロナウイルス情勢の変化などにより、当館の行事の日時や期間、内容などが変更となる場合があります。ご来館予定の方は当日の萩博物館HP・SNSなどで最新情報をご確認ください。

開館時間 / 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
 休館日 / 2022年6月8日(水)～6月10日(金)
 駐車場 / 有料 ※ただし萩市民は無料
 普通自動車(軽自動車を含む) 93台(1回310円)
 大型自動車(マイクロバスを含む) 8台(1回1,050円)
 観覧料 / 大人 520円、高校・大学生 310円、小・中学生 100円
 未就学児 無料
 [団体割引20名以上] 20% [障がい者割引] 20%

【小展示】川上地域の山樵用具

阿武川歴史民俗資料館に收藏された萩市川上地域の山仕事道具を紹介します。阿武川ダム建設に伴って水没した地域の暮らしの一部を民俗資料から振り返ります。

●場所 / 萩博物館 人と自然の展示室
 ●展示期 / 3月19日(土)▶6月19日(日)

萩市観光情報はコチラ!



萩博物館HP



萩市観光協会HP



萩博物館

〒758-0057 山口県萩市大字堀内355番地
 TEL:0838-25-6447 FAX:0838-25-3142
 E-mail:muse@city.hagi.lg.jp

